

子育て支援拠点の整備について 《意見書》

ほくと子ども育成戦略会議（R4.6）

子育て支援拠点の整備について

課題	対応策
<p>○遊具や公園そのものが大自然を生かしていない ※移住者が抱くイメージ『北杜市＝自然』を生かしている場所がない</p> <p>○他市との比較ではなく、北杜市ならではの公園や居場所づくりが必要 ※自然を中心に置いたもの</p>	<p>○目指したい場所は、自然の中で、世代を超えてみんなが様々な遊びができ、土日も遊べる場所</p> <p>○プレーパーク的なもので、自然の中でどろんこ遊びや農作業体験などできる場所</p> <p>○施設の窓枠内がひとつの絵になるような自然風景を生かした場所に「ほくと子ども美術館」として整備</p> <p>《キーワード》 【北杜らしさ】</p> <ul style="list-style-type: none">・「北杜らしさ」を突き詰めて、反映したものにする・「北杜らしさ」とは「自然」が一番のポイントとなる

子育て支援拠点の整備について

課題	対応策
<ul style="list-style-type: none">○子育て支援拠点として相談や交流ができる場所が必要○つどいの広場や子育て支援センターなど既存施設がたくさんあるが、平日の日中しか利用できず、利用者のニーズに合っていない○雇用を生み、大人が本気で子どもたちに関われる仕組みづくりが必要○今ある施設の利用について、年齢制限があり、兄弟一緒に利用できない○新しい公園整備の必要性について疑問	<ul style="list-style-type: none">○ソフト面の充実が重要○多くの人が集えば、様々な悩みや相談事が出てくるので、駆け込み寺的な存在で、相談もでき、支援等に繋げてくれる場所を併設する○子どもからそこに関わる大人まで世代を超えて、集い、交流できる場とする○市民や地域の有識者を委員に加え、整備検討会を立ち上げ、作って終わりではなく、その場所、施設がずっと育っていける場所づくりを行う○小学校低学年までといった年齢制限ある場所ではなく、大きくなっても利用でき、学校を卒業してからもその場所に戻って仕事ができるような施設をつくる <p>《キーワード》</p> <p>【ソフトの充実】</p> <ul style="list-style-type: none">・ものを作るだけでなく、何でも相談できる場所、世代を超えた利用、土日利用可など、どのように活用するかソフト面の充実を十分検討してからハード面を考える

子育て支援拠点の整備について

課題	対応策
<ul style="list-style-type: none">○そもそも子どもや親が集える場所は既に多く存在するが、利用者が情報を取得しづらい○既存の公園で全然整備されていない場所がある○土日でも利用でき、未就学児から小学生まで集まって遊べるプレーパークが欲しい○べるが等、夏には子供で賑わっているが、集客用の観光施設であり、地域の子どもが遊べる場所が必要○子どもたちや親、幅広い世代が集まれるシンボリックな場所が必要○どんな場所でも多くの利用者が歩いて行けるわけではない	<ul style="list-style-type: none">○地域にある公民館や小規模な広場など利用できる場所はあるが、行政の管轄が異なることで情報が伝わらない。一つの部局が責任をもって、利用者が必要な情報をとりまとめ、工夫して情報発信を行う○新しいものを作るだけでなく、今ある施設の現状を把握し、安全面を考慮してリニューアルしていく○民間施設の誘致を行う等、民間と協働して子どもの遊び場を整備していく○移動手段が確保できるよう公共交通等の検討を行う <p>《キーワード》</p> <ul style="list-style-type: none">【シンボリック的存在】<ul style="list-style-type: none">・子育て支援拠点のシンボルとなる施設を整備する【民間との協働】<ul style="list-style-type: none">・民間活力の導入、協働で子育て支援拠点の充実を図る

子育て支援拠点の整備について 【課題（参考資料）】

